

2025年度														新人看護職員教育計画表														大阪みなと中央病院														所 属（ ）														氏 名（ ）													
		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月																																													
新人看護職員到達目標		到達目安		□病棟の構造が理解できる □先輩と共に行動し、一日の流れが理解できる		□先輩と共に日勤の担当患者の観察とケアが行える		□指導を受けながら日々の複数担当患者の観察・ケアができ報告できる □先輩と共に患者の就寝前までのケアが経験できる						□夜勤業務の流れが理解でき、先輩と共に開始できる				□先輩と共に重症患者の病態を理解しながら観察、必要なケアが行える		□指導を受けながら一人で夜勤業務ができる				□チームメンバーの役割を理解し、行動できる □次年度の目標を考えることができる																																													
新人看護職員看護実践到達項目	到達時期		3ヶ月後										6ヶ月後										12ヶ月後																																														
	看護職員として必要な基本姿勢と態度	★Ⅰ	(2)看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する(5)患者を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接する(8)守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する(9)看護は患者中心のサービスであることを認識し、患者・家族に接する(14)自己評価及び他者評価を踏まえた自己の学習課題をみつける										(4)患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する(13)同僚や他の医療従事者と適切なコミュニケーションをとる(6)患者・家族にわかりやすい説明を行い、同意を得る										(1)医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人権を擁護する(3)職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する																																														
		★Ⅱ	(10)病院及び看護部の理念を理解し行動する(11)病院及び看護部の組織と機能について理解する(15)課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する																				(7)家族の意向を把握し、家族にしか担えない役割を判断し支援する(12)チーム医療の構成員としての役割を理解し協働する(16)学習の成果を自らの看護実践に活用する																																														
	看護技術	★Ⅰ	(17)温度、湿度、換気、採光、臭気、騒音、病室整備の療養生活環境調整(18)ベッドメイキング(20)食事介助(21)経管栄養法(22)自然排尿・排便援助(27)歩行介助・移動の介助・移送(28)体位変換(32)清拭(34)口腔ケア(36)部分浴・陰部ケア・おむつ交換(37)寝衣交換等の衣生活支援、整容(38)酸素吸入療法(39)吸引(口腔内、鼻腔内、気管内)(41)体温調整(45)褥瘡の予防(47)終口薬の与薬、外用薬の与薬、直腸内与薬(57)意識レベルの把握(64)バイタルサイン(呼吸・脈拍・体温・血圧)の観察と解釈(65)身体計測(66)静脈血採血と検体の取り扱い(69)血糖値測定と検体の取り扱い(71)パルスオキシメーターによる測定(76)スタンダードプリコーション(標準予防策)の実施(77)必要な防護用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択(79)医療廃棄物規定に沿った適切な取り扱い(82)誤薬防止の手順に沿った与薬(83)患者誤認防止策の実施(84)転倒転落防止策の実施										(63)チームメンバーへの応援要請										(40)ネブライザーの実施(78)無菌操作の実施(80)針刺し切創、粘膜暴露による職業感染防止対策と事故後の対応																																														
		★Ⅱ	(53)抗菌薬、抗ウイルス薬等の用法の理解と副作用の観察(72)安楽な体位の保持																				(30)入眠・睡眠への援助(31)体動、移動に注意が必要な患者への援助(58)気道確保(59)人工呼吸(60)閉鎖式心臓マッサージ(61)気管挿管の準備と介助																																														
	看護実践における管理的側面	★Ⅰ	(25)洗腸(33)洗髪(35)入浴介助(49)静脈内注射、点滴静脈内注射(51)輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理(54)インシュリン製剤の種類・用法の理解と主作用・副作用の観察(73)薬法等身体安楽促進ケア										(48)皮下注射、筋肉内注射、皮内注射(52)輸血の準備、輸血中と輸血後の観察(56)薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)(68)採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い(70)心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理(74)リカゼーション技法(75)精神的安寧を保つための看護ケア(81)洗浄・消毒・滅菌の適切な選択(85)薬剤・放射線暴露防止策の実施										(19)食生活支援(23)導尿(24)膀胱内留置カテーテルの挿入と管理(26)排便(29)廃用症候群予防・関節可動域訓練(42)体位ドレナージ(43)人工呼吸器の管理(44)創傷処置(46)包帯法(50)中心静脈内注射の準備・介助・管理(55)麻薬の種類・用法の理解と主作用・副作用の観察(62)外傷性の止血(67)動脈血採血の準備と検体の取り扱い(86)死後のケア																																														
		★Ⅱ	(101)規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱う(102)看護用品・衛生材料の整備・点検を行う										(92)看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する(91)複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する(103)患者の負担を考慮し、物品を適切に使用する										(99)定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)には決められた初期行動を円滑に実施する(104)費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する																																														
																						(96)決められた業務を時間内に実施できるように調整する(97)薬剤を適切に請求・受領・保管する(含、毒薬、麻薬、劇薬)(98)血液製剤を適切に請求・受領・保管する																																															
部署内教育	担当する患者		シャドウイング		担当患者：1名		担当患者：1～3名		担当患者：3～4名		担当患者：5～6名		担当患者：6～7名		・麻薬・化学療法中の患者の対応 受け持ち1名(受け持ち看護師) ・終末期看護 ・家族看護 重症患者の看護 受け持ち2名(受け持ち看護師) ストーマ造設患者のマーキング、交換																																																						
	習得業務		常備薬の員数点検・日々の物品員数点検・中材物品点検・翌日の検査説明・体圧分散測定・		アナムネ聴取、入院オリエンテーションの実施。入退院時チェックリストの項目の実施。末梢ルートの確保・面会者の対応。DCの点検。		OP後ベッドの準備・バス使用患者のアウトカム評価、翌日の内服セット・歯科口腔外科の手術準備				外科全般の手術準備 隔離部屋の準備		「夜勤帯でみんなですることができリスト」の実施		緊急入院対応 麻薬の取扱・管理方法 抗がん剤の取り扱い		受け持ち患者の看護計画の立案・評価 看護サマリーの記録 エンゼルケア																																																				
	部署内勉強会		・災害時、非常口、防火扉など病棟構造の理解		・血糖測定指示の見方、手順方法、記録・転倒予防策・全身麻酔・CF/GIF・口腔外科看護		・口腔外科疾患の手術方法、入院から退院までの流れ ・5S・接遇・火災時について		・ストーマ管理(1回目) ・耳鼻科術後管理 ・胆嚢(胆管炎・胆石)・ERCP		・化学療法 ・NST栄養管理の必要性(脱水) ・CV(ポートも)挿入部の管理		・スキンケアについて ・認知症(せん妄) ・ACPIについて		・緩和ケア ・術後の全身管理について ・胃癌看護		・大腸癌 ・病棟での急変対応 ・外科術後の離床ケアについて ・ろうと胸		・感染予防 ・ドレーン管理 ・注入(PEG・胃管チューブ)の管理		・肝疾患について ・麻薬管理		・ストーマ管理(2回目) ・地震発生時について ・腎臓管理について																																														
	ミーティング		チーム会 プリセプター会		チーム会 プリセプター会		チーム会		チーム会 プリセプター会		チーム会		チーム会 プリセプター会		チーム会		チーム会 プリセプター会		チーム会		チーム会 プリセプター会		チーム会 プリセプター会																																														
			アリゲーターとの面談		アリゲーターとの面談		アリゲーターとの面談		アリゲーターとの面談		アリゲーターとの面談		アリゲーターとの面談		アリゲーターとの面談		アリゲーターとの面談		アリゲーターとの面談		アリゲーターとの面談		教育担当者と目標の振り返り																																														
	私の目標						私の目標を決定する		教育担当者と振り返り						教育担当者と振り返り				教育担当者と振り返り		私の目標																																																
看護部集合研修	看護の核となる実践能力	基本的看護技術		目標：安全で実践的な看護技術を習得する ・静脈血採血と検体の取り扱い・皮下注射、筋肉内注射・食事介助、経管栄養法・口腔ケア・経口薬の与薬・輸液管理、留置針による点滴静脈注射・清拭、部分浴、排泄援助、寝衣交換、体位変換・転倒転落防止策、歩行・移動介助・輸液ポンプ、シリンジポンプの準備と管理・輸血の準備と観察・酸素吸入、吸引・褥瘡予防		・心電図モニター、12誘導心電図の装着、管理 ・抗がん剤について				・救命救急措置技術(BLS)		・CVポートの管理				ローテーション研修振り返り 目標：ローテーション研修で得た学びを自部署の看護に結び付け活かすことができる																																																					
		看護倫理		目標：倫理の基礎的知識を理解できる																																																																	
		フィジカルアセスメント						目標：フィジカルアセスメントの基礎的な知識・技術を習得することができる																																																													
		看護過程																目標：看護過程を理解することができる。患者に必要な身体的、精神的、社会的な側面から情報収集ができる																																																			
		看護記録		目標：当院の看護記録の実態を理解する																																																																	
		看護を語る会		目標：自分の看護を振り返ることで、自分の行動や思考を内省し課題を見出すことができる								看護を語る会 1回目		看護を語る会 2回目		看護を語る会 3回目																																																					
		コミュニケーション				目標：患者、家族との信頼関係を築くために必要なコミュニケーションを学ぶ																																																															
		看護必要度						目標：診療報酬における入院基本料の施設基準である看護必要度の考え方を理解する・看護必要度の評価方法・評価項目・定義・判断基準を理解する・看護必要度評価に必要な記録ができる																																																													
		救急看護								目標：急変徴候を学び早期発見に繋げることができる。急変時の適切な対応について学び実践に活かすことができる																																																											
	がん看護				目標：がん看護を提供するための知識を習得する(抗がん剤について)																																																																
看護部集合研修	組織的役割遂行能力	リーダーシップ		目標：組織の理念・看護部・部署の目標が理解できる。チーム医療の一員としての役割を理解し行動できる(連絡・報告・相談ができる/事実を正しく報告できる)																																																																	
		医療安全/感染		目標：医療安全の基礎知識を学ぶ。当院の医療安全管理体制について理解する。リスクマネジメントの考え方、手法を学び実践に活かすことができる。/目標：感染予防管理体制について理解できる。スタンダードプリコーションが遵守できる				施設内の防災設備について 目標：自部署の管理体制(消火設備、避難経路)がわかる		危険予知トレーニング 目標：看護業務の中に潜む危険を予知することができる						目標：災害発生時の搬送方法について理解できる																																																					
		災害																																																																			
		労働安全衛生				目標：ストレスの対処法について知ることができる。メンタルヘルス、ハラスメントに関する相談窓口を知る																																																															
		自己教育力						3ヶ月研修 目標：自己の振り返りを行い、今後の目標を具体的に明文化できる																																																													
	研究能力																		目標：ケーススタディについて学び、取り組むことができる																																																		
評価	新人看護職員看護実践到達評価		○新採用時評価		○看護実践到達項目1ヶ月評価				○看護実践到達項目3ヶ月評価				○看護実践到達項目6ヶ月評価				○看護実践到達項目8ヶ月評価				○看護実践到達項目12ヵ月評価 ○キャリアラダー評価		○看護実践到達項目最終確定																																														